

松田川流域 森川海の物語



水のこども「みくまりん」
雨の日、山の尻根には
水のこども「みくまりん」が
うまれる。

松田川系が黒瀬川系が
うめいの分かれる尻根。

奥蔵自然観察教育林

奥蔵

松田川風景林

日平

坂本

京玉川

篠川

二宮

和田

穂田

久保

大瀬

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

大瀬川山

森は大きな木や小さな木
草やコケやキノコ、
虫や鳥や動物をはじめ
目にみえない菌やバクテリア
土の中の生き物たち。
たくさんのいのちあるものたちが
それぞれの役目を持ちながら
いのちをめぐらしながら、ずっと
くりかえし続いている。
かけがえのないところ。
まんだらのように重々無尽につながっている。

この美しい川には
きっと、かわはも
住んでいたことば。

宿毛市では
三つが森と
呼ばれる。
ホシノワサギの
四国分布南限

土佐の山並
南海三千里

漁師が魚を担ぐ
いる姿をよく見かけ。

昔から暗号の
定番は「山」とは
「川」と答える。

2016年8月11日から
「山の日」が祝日と
なる。
これまで祝祭日のないのは
6月だけになる。
7月20日の「海の日」があるから
次は6月に「川の日」が
きくと制定されるはずだ。

宿毛市の木は「クスノキ」
太陽の光を受けて、葉っぱが
キラキラと光る。照葉樹の
代表格。
かつて土佐藩の重要な産物で、
徳川幕府の原料でもあった。
木の神「スサノオミコ」のツモから
クスノキがでた「船」を作りなさいと
人間に伝えたとされる。
各地に巨木も残っている。

自然界では多くの生き物が
絶滅している。虫も魚もある日突然に
いなくなる。姿を消したのではない!!
異変は日々、少しずつ進行する。
だから今、そこにいる生き物たちの
命に目を向け、自然の恵みと次の世代に
つなげていく。意識を強く持とう!!

ズギやヒサキの人工林は、先人が山の斜面に
はりつこうにしながら苗木を植えて
大正の下町や戦後の復興など
手を入れた。大切に育ててきた財産。
今その努力によって大きく成長し
国産材の時代がやってくる!!

材業は
重労働だ。
重労働だ。

大瀬川山

ニホンジカの増加が深刻な
社会問題となっている。
ナワバリをもたず、群れて
行動し、草から木の皮
農作物にまで被害を
およぼす。
自然のバランスが一つ狂うと
とりかえしのつかない石段綻が
ひびくという警告金鐘だ。

「害獣」として扱われているが
人の命も野生生物の命も
重さは同じはず。
お互いの命を尊重しあひ
共生できる世の中を
とりもどそう。

森は海の恋人
宿毛湾沿岸の豊かな海の幸は
まわりの山々を源にした
松田川を中心とする川が
養分を運んでいるから。

森と海
遠距離
恋愛みたいやね。

片島

大島

大瀬川山

山の中には炭窯跡が
たくさんある。
明治期、高知の炭産量は
日本でトップクラス。
都市の生活を支えていた。
炭窯にまつわる話も
各地に79ヶ所残っている。

炭焼は
熟練に
技術が
必要

坂本タム
(どんじり湖)

しんどい時や苦しい時に
心の支えになってくれるのは
自然の中。遊んだ幼い
このための思い出。
この地に残る美しい自然を
次の世代に残していこう。

川には「瀬」があり「淵」があり
呼吸をしながら流れることで
川の生き物たちがくらしている。
コンクリートでおおわれたり
家庭排水で汚れてしまったり
生き物がとんとん姿を消す。
カワウソもそのひとつ。

橋上

二宮

松田川

松田川小学校

和田

穂田

久保

ほけが森
751m 王使の三角点
ほけ岩
湯気の出る岩穴がある

この美しい川には
きっと、かわはも
住んでいたことば。

下蔵川

坂本

橋上

二宮

松田川

松田川小学校

和田

穂田

久保

大瀬川山

鍋が森
635m

土佐の山並
南海三千里

横瀬川
予定地

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川

大瀬川